



カトリック

三軒茶屋教会

# おとずれ

2015年5月24日発行 第60巻 第4号



聖霊降臨号

## 「パンジェ・リングア」

主任司祭 ミカエル 湯澤民夫 神父

「パンジェ・リングア」と言っても、聖歌隊の人か、バチカン公会議以前のことを知っている信徒くらいしか思い出さないであろう。ご聖体に対する讚美歌である。実は、最近耳にしているはずである。聖木曜日の典礼の後で、聖堂の祭壇から泣き部屋の仮祭壇へご聖体を移すための行列の間に歌われている。

これは、1263年に聖トマス・アクィナスが作ったと言われている「主の御受難の記念である聖体を称える讚美歌」である。一説によると、ボワチェの司教ヴェナンチウス・フォルトゥウス（530年没）が作った十字架の讚美歌、「パンジェ・リングア・グロリオシ・ラウレアム・チェルタミニス」（歌え、我が舌よ、いとも名高き名誉の鬨をなしたるもの）からのものだとか。

「いざ歌え、我が舌よ、栄えある御体の奥義と、尊き御母の御子、万民の王の、世の贖いのために流し給える尊き御血の奥義をば」。第四節までである「パンジェ・リングア」の第一節である。「すなわち最後の晩餐の夜に当たりて、主は兄弟らと共に食卓を囲み、旧約の則に従いて過越しを食し、この時、御手ずから御身を十二使徒に分ち給えり」「人となり給える御言葉はまことのパンを御肉となし、葡萄酒は実に御血と変われり、五感はこれを測り得ざれども、まことなる心は信仰のみによりて確く信ずるなり」（『公教会祈祷文』より）文語なので分かりづらいかも知れないが、第三節と第四節である。

十四世紀に入ると、有名な「タントウム・エルゴ」と「ジェニトリ・ジェニトクエ」が、第五節、第六節として加わった。これらは、もっと知っている人がいるであろう。昔は「聖体降福式（ベネディクション）」と言っていたが、今日稀に行われる「聖体賛美式」と呼んでいる式の中で歌うからである。

実は、この「パンジェ・リングア」について書こうと思って、口語訳を探したが、あまり熱心に探さなかったこともあって、見当たらない。ご聖体そのものを賛美する式や祈りが行われなくなってきたのかもしれないと思った。

来月最初の日曜日は、ご聖体の祝日であるが、初聖体もなければ、あまりご聖体を意識しないのではなかろうか。昔は、聖体行列、聖体永久礼拝（アドラツィオ）、聖体大会、更に、ご聖体訪問などがあって、かなりご聖体の対する意識もあった。今は、聖堂にご聖体があるがなかろうが、安置されていようがいまいが、まったく意識がなさそうである。

ところで、当時の教皇がご聖体に対する讚美歌を募集したとか。聖トマス・アグイナスと聖ボナベントゥラが讚美歌を作った。聖トマスは、この「パンジェ・リングア」を提出した。それを聞いて、これほど素晴らしい讚美歌はないと言って、聖ボナベントゥラは、自分で作ったものを破棄したとか。そんなエピソードを聞いたことがある。

## つながりつづけて

### 1. 切り絵展のご報告

先般、枝の主日から復活の主日まで、教会の一室をお借りして南相馬市の仮設住宅におられる紺野幸子さんの切り絵展を開催いたしました。皆様には温かいメッセージをお寄せいただき、誠にありがとうございました。

4月13日に教会のメンバー4人で南相馬市を訪問し、幸子さんの勤務先に隣接する道の駅でお会いして、切り絵の作品と教会の皆様からお預かりしたメッセージをお渡ししました。

この度の切り絵展開催の経緯は、震災からのお付き合いの中で幸子さんのお母様が、「この頃幸子の表情が暗くなってきて・・・」と心配されたひと言にありました。幸子さんが勤務する学習センターでは福島のかたりべでもあられる、渡部 弘先生ご指導の切り絵教室が設けられていました。「切り絵製作に集中することで束の間、日々の厳しさから解放され、癒しの場になっている」ということをお聞きして、既にその作品を見た人が、幸子さんの切り絵を紹介したいと言い出したことがこの企画の発端です。

2月15日～3月15日まで東京カテドラルのセントポール売店内で17点の切り絵を展示しました。三軒茶屋教会の皆様にもご覧いただきたいと、そのままお借りして展示する運びとなりました。

作品をお返しして10日後のことです。残念なことに、闘病中の渡辺先生の訃報が届きました。昨年12月からの休講で、生徒の皆さんは先生が治療に専念されて、教室に復帰してくださることを心から願っておられました。私たちもお祈りしますと、幸子さんに約束してお別れしましたのに、本当に悲しくて残念なことが起きてしまいました。生徒さんたちの悲しみ、落ち込みはいかばかりでしょう。先生のご冥福と『癒しの場』を失った生徒さんたちのためにどうぞお祈りください。

### 2. 住宅を訪問して

東京からは、常磐自動車道が全線開通しましたので、常磐富岡インターから6号線を車で行きました。大熊町、双葉町、浪江町と立入禁止地区が続き、道路の両側は完全に封鎖されており、線量計が点々と設置されていました。地震の被害を免れながら、原発事故のために無人となった町々は立派な住宅や店舗がそのまま残り、白い防護服に身を固めた作業員以外の人影はありません。テレビでも放映されていましたが、除染のために取り除かれた土を

入れた黒い袋が沿道に山積みされている光景は異様としか思えず、他の被災地にくらべて何も対策が進んでいない福島独自の現状、原発事故がもたらした取り返しのつかない現実にその厳しさを痛感しました。

仮設住宅では自治会長の紺野さんの奥様をはじめ3年前にお会いした方たちが温かく迎えてくださいました。「6号線を来た？線量はどのくらいだった？」とすぐに問われました。除染などの対策が遅々として進まないこと、将来の目安が立たないことなど、怒りやいらだちの中におられることでしょうが、明るく、時には笑いながら話がはずみ、皆様のお心遣いに感謝のひとつときを持たせていただきました。

「皆、福島のことなど忘れているでしょう。近頃ではニュースでも全然出てこない、と横浜の親戚に言われてる」と、お話くださった方がありました。

私たちは非力で何もできないかもしれませんが、「忘れない」こと、「みなさんつながり続けること」を私たちを導いてくださる主イエスとともに、教会の皆さんと祈りのうちに続けていきたいと思ひます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

追記) 紺野さんから新鮮なウドを10本送っていただきました。10日の日曜サロンでおいしいサラダときんぴらを作って提供していただきました。ありがとうございました。  
(記：切り絵展有志)



切り絵の展示会場(予備室)

## 玉川通り宣教協力体のバスハイク行われる

去る、4月29日(水・昭和の日)に玉川通り宣教協力体の合同バスハイクが行われました。この企画は、玉川通り宣教協力体・拡大会議で、毎年行われている澁谷教会のバスハイクを、玉川通り宣教協力体の三教会(澁谷・瀬田・三軒茶屋)の信者が交流と親睦を深める事を目的として実施されました。当日は大型観光バス2台が澁谷教会に、あと1台は瀬田教会・三軒茶屋教会として用意され、瀬田教会の15名を乗せて途中246深沢で無原罪の聖母宣教女会のSrを乗せ三軒茶屋教会脇道路から当教会参加者が加わりました。バスには澁谷教会ボーイスカウトのリーダー松本さんが、ガイド役で乗られました。

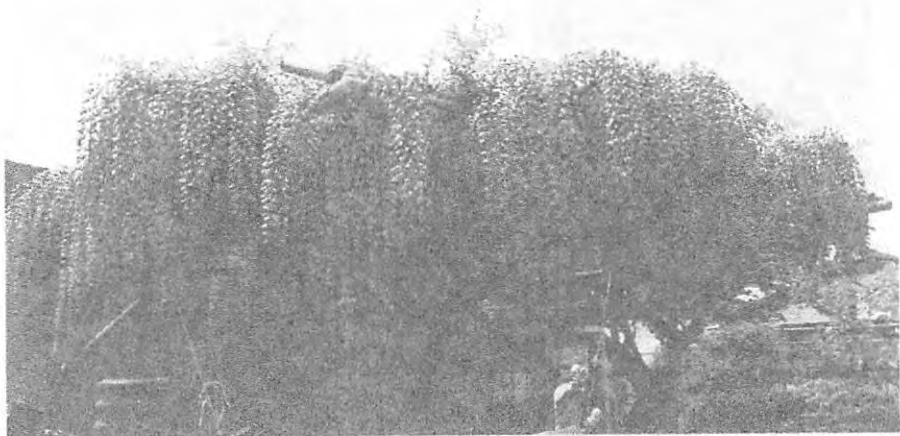
バスは首都高三軒茶屋ランプから大橋ジャンクションを経由して、一路東北自動車道へ進み、先行していた澁谷教会の2台のバスと合流し佐野インターチェンジから「栃木苺の里・湯本農場」へ。苺のビニールハウスの道すがら、見事な藤の花に見とれ、農家の垣根のモッコウバラの黄色と白い花に感心し、かなり歩いてミツバチの飛んでいる100m長さの苺ビニールハウスへ到着。30分限定完熟の「とちおとめ」をつまんで、その味を楽しみました。手の指が、苺色に赤く染まるほど、苺を食べるのは爽快なことでした。「道の駅思川」に立ち寄りお買い物タイムの後、「みかも山公園」のハーブ園の傍の芝生で、持参のお弁当や、お昼のホテル並みのバイキングを楽しみました。大きな芝生の広場には、澁谷教会や三軒茶屋教会から持参した簡易テントが見事に素早く設営され、夫々のグループが輪になって素晴らしい食事を摂られていました。150名の集合写真を撮ったあとバスで帰路に着きました。前半のゴールデンウィークにも拘わらず、高速道路は快適なドライブでした。当教会から参加された皆さんは、とても楽しんで満足されていました。



出発前の参加者



道中のバスの中で自己紹介



見事な藤の花





澁谷教会の有氏の料理バイキング



参加者 150 名集合写真



5月10日聖母マリア祭風景



8時30分のミサご聖母マリアの祈り



10時30分のミサ前の聖母マリアの祈り

## 人のうごき

### 洗礼・堅信

おめでとうおめでとうございます

2015年4月4日

マリオ・ベネディクト 松原 竜三 ⑨ブロック  
ヴェロニカ 松原 自由 ⑨ブロック \*幼児洗礼・洗礼のみ  
使徒ヨハネ 守安 信介 ④ブロック  
フランシスカ 守安 富美子 ④ブロック

2015年4月5日

パトリック 名倉 健太 ⑦ブロック \*幼児洗礼・洗礼のみ  
ベルナデッタ 名倉 恵 ⑦ブロック \*幼児洗礼・洗礼のみ

2015年4月12日

ペトロ 深津 宏哉 ⑫ブロック

2015年5月10日

ジェンマ 小野 信嗣 6ブロック

### 転入

2015年3月15日

テレジア 伊藤 寿三子 ⑦ブロック 仙台教区・会津若松教会より

### 結婚

おめでとうおめでとうございます

2015年4月12日

ヨゼフ 垣内 充也 ⑩ブロック  
悦子

### 転出

2015年5月12日

マリイ ハリソン 愛々美 ②ブロック 碑文谷教会へ転出

マリイ ハリソン・マリイ・ココミ

### 帰天

永遠の安息をお祈りいたします

2015年4月28日

フランシスコ 三宅 守 ⑪ブロック

2015年5月12日

ペトロ 深津 宏哉 ⑫ブロック

## こよみ

### 5 月

- 5月24日(日) 聖霊降臨の主日  
5月25日(月) 聖ペダシ教教会博士・聖グレゴリオ七世教皇  
5月26日(火) 聖フィリポ・ネリ司祭  
5月27日(水) 聖アウグスチヌス(カンタベリー司教)  
5月28日(木) 聖ジェルマノ司教  
5月29日(金) 聖テオドシア殉教者  
5月31日(日) 三位一体の主日

### 6 月

- 6月 1日(月) 聖ユスチノス  
6月 2日(火) 聖マルチェリノ 聖ペトロ殉教者  
6月 3日(水) 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者  
6月 5日(金) 聖ボニファチオ司教殉教者  
6月 6日(土) 聖ノルベルト司教  
6月 7日(日) キリストの聖体  
6月 9日(火) 聖エフレム助祭教会博士  
6月11日(木) 聖バルナバ使徒  
6月12日(金) イエスのみ心  
6月13日(土) 聖アントニオ(パドバ) 司祭教会博士  
6月14日(日) 年間第11主日  
6月17日(水) 聖フランシスコ・レジス司祭  
6月19日(金) 聖ロムアルド修道院長  
6月21日(日) 年間第12主日  
6月22日(月) 聖パウリノ(ノラ)司教・聖ヨハネ・フィッシャー司教  
6月24日(水) 洗礼者聖ヨハネの誕生  
6月27日(土) 聖チリロ(アレキサンドリア)司教教会博士  
6月28日(日) 年間第13主日  
6月29日(月) 聖ペトロ 聖パウロ使徒

### <5月のみ言葉>

なぜ、天を仰いで立っているのか。使徒行録 1-11

### <6月のみ言葉>

マラナ・タ(主よ来てください) 1コリント 16-22

## あ と が き

- ◇ 聖霊降臨号を、お届けします。すっかり初夏の気配を感じるこの頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。
- ◇ 今号の「おとずれ」には、湯澤神父様は「パンジェ・リングア」と題して巻頭言を掲載しています。最近の御聖体に対する、意識が薄れているのではと指摘しています。
- ◇ 福島被災地の権現澤仮設住宅の切り絵の作者の記事を、切り絵展有志の方々から投稿がありました。
- ◇ 4月29日には、玉川通り宣教協力体三教会合同の楽しいバスハイクの記事と写真を掲載しております。
- ◇ 「聖ペトロ・聖パウロ号」(第60巻 第5号)は、2015年6月28日発行です。



『おとずれ』第60巻 第4号 2015(平成27)5月24日発行  
発 行 カトリック三軒茶屋教会  
編集・印刷 カトリック三軒茶屋教会・広報委員会  
主任司祭：ミカエル 湯澤 民夫  
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-51-32  
TEL 3421-1605 FAX 3421-9788  
<http://home.f05.itscom.net/sancha/index.htm>  
[sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp](mailto:sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp)